

## 2013 年度 Conductivity Anomaly 研究会

### 小特集

### Japan Electro-Magnetic Imaging with Network observation In-depth (JEMINI) 計画

#### 本セッションの狙い

山口 覚 (大阪市立大学大学院理学研究科)

近年各国で進められている地球電磁気学研究の中で注目すべき流れとして、大陸スケールの 3 次元地下比抵抗構造を明らかにすることを目的とした大規模地磁気地電流観測 (例えば, USarry, SinoProbe) が挙げられます。

日本国内では, CA グループを中心として, 陸上, 海域の両方において, 主として学術目的の Magnetotelluric (MT) 観測, Geomagnetic Depth Sounding (GDS) 観測が, 多数行われています。これらはいずれも, 多大な労力, 時間, そして資金を用いて得てきた大きな資産です。陸域・海域での多様な電磁気観測データを総合的に用いることができれば, その価値は一層高まることが期待されます。さらにこれらを核として, 組織的に新規の電磁気観測を展開することによって, 海外で行われている大規模比抵抗構造探査に匹敵する成果を挙げる事が期待されます。

このような研究計画を CA グループ全体で推し進めていくには, それぞれが行ってきた観測に関する情報を共有することが, 必要なことと考え, 本セッションを企画しました。